

～第4種踏切道において発生した、列車と通行者との衝突による死亡事故～

鉄道事業者名：東日本旅客鉄道株式会社

事故種類：踏切障害事故

発生日時：平成30年7月30日 11時03分ごろ

発生場所：栃木県足利市

両毛線 足利駅～山前駅^{やままえ}間（単線）

第三太田踏切道（第4種踏切道：遮断機及び警報機なし）

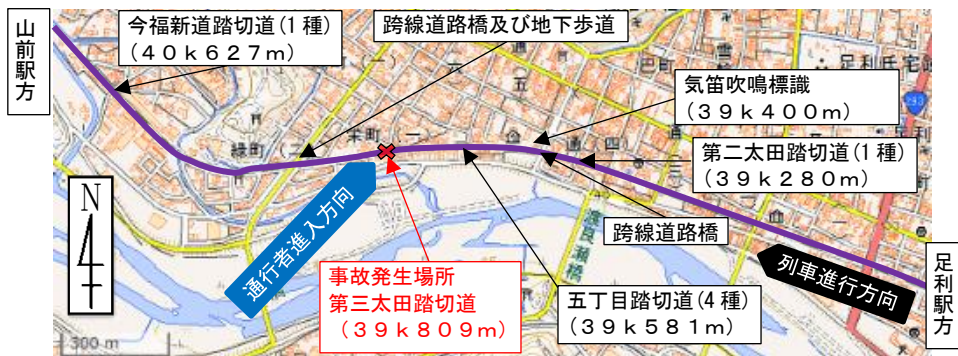
小山駅起点39k809m付近

<概要>

東日本旅客鉄道株式会社の小山駅発高崎駅行きの上り普通第444M列車の運転士は、足利駅～山前駅間を速度約83km/hで走行中、第三太田踏切道に自転車を押しながら進入してくる通行者を認めたため、気笛を吹鳴するとともに直ちに非常ブレーキを使用した。列車は同通行者と衝突した。

この事故により、同通行者が死亡した。

<事故現場付近略図>



※この図は、国土地理院の地理院地図（電子国土 Web）を使用して作成

<通行者進入側から見た第三太田踏切道の状況>



< 第三太田踏切道の踏切注意柵付近から見た足利駅方の見通し状況 >



< 上り列車から見た第三太田踏切道の見通し状況 >



< 原因 >

- ・ 本事故は、踏切遮断機及び踏切警報機が設けられていない第4種踏切道である第三太田踏切道に列車が接近している状況において、自転車を押した通行者が同踏切道に進入したため、列車と衝突したことにより発生したものと推定される。
- ・ 列車が同踏切道に接近している状況において、同通行者が同踏切道に進入した理由については、列車の接近に気付かずに同踏切道に進入した可能性があると考えられるが、同通行者が死亡しているため詳細を明らかにすることはできなかった。

< 再発防止のために望まれる事項 >

- ・ 踏切遮断機及び踏切警報機が設けられていない第4種踏切道は、廃止又は踏切保安設備を整備すべきものである。鉄道事業者、道路管理者及び地域住民等の関係者は、本事故が発生したこと及び踏切周辺の状況を踏まえ、本件踏切の廃止又は踏切保安設備の整備に向けた協議を進め、できるだけ早く方針を定めて、具体的な取組を進めることが望ましい。

詳細は、運輸安全委員会ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/jtsb>) より、
鉄道事故調査報告書をご覧ください。